

特別企画

新東宝の時代

戦後、東宝から独立し短い期間に多様な作品を生み出した新東宝。
創立60周年を記念して、代表作を特集。



恋文

4【日】30【金】
16:30 14:00

たそがれ酒場



監督：内田吐夢
出演：小杉勇 津島恵子

「たそがれ酒場」には今日も多くのお客様を求めてやってくる。専属の老ピアノニストの演奏で弟子の歌手が歌う。戦争中戦争画を描いたことに苦慮する画家、旧軍人、サルトルを論じる学生達などのある一日が描かれる。名匠・内田吐夢監督が「グラン・ドホテル」形式で戦後に生きる様々な人間模様を描いた秀作。

1955年/16ミリ/モノクロ/94分/新東宝

3【土祝】29【木】
11:00 19:00

下郎の首



監督：伊藤大輔
出演：田崎潤 片山明彦

結城新兵衛は些細なことから浪人・磯貝に殺される。息子の新太郎は下郎の誂平と共に、父の仇討ちのために顔も知らない磯貝を探し旅にでる。ある日誂平は偶然磯貝に出会い、討ち果たす。ところが今度は誂平が仇として狙われる。伊藤大輔監督のサイレント映画の傑作「下郎」の再映画化作品。誂平を演じる川崎潤が素晴らしい。

1955年/16ミリ/モノクロ/98分/新東宝

3【土祝】22【木】30【金】
14:00 14:00 19:00

王将一代



監督：伊藤大輔
出演：辰巳柳太郎 田中絹代

大阪・天王寺に住む坂田三吉は無類の将棋好き。仕事もせずに将棋に打ち込む三吉だが、彼を支援する人々が現れ、口棋士となる。そして東京の入江八段の持つ名人位に挑戦する。48年に阪東妻三郎主演で映画化された「王将」の再映画化作品。前作は女房小春の死までだが、本作は前作の物語を含め、それ以後20年ぶりに入江八段に挑む物語までが描かれる。

1955年/16ミリ/モノクロ/115分/新東宝

9【金】11【日】
14:00 14:00

女の暦



監督：久松静児
出演：田中絹代 香川京子

瀬戸内海の小さな島。クニ子と実枝の姉妹は二人暮らし。三人の姉妹は結婚して日本各地で暮らしていた。クニ子達は両親の法事をすることので10年ぶりの姉妹全員の再会を計画する。世代や生活の違うそれぞれの女性の生き方が暖かく描かれる。杉葉子や花井蘭子など女優陣の共演が華やか。

1954年/ビデオ/モノクロ/100分/新東宝

6【火祝】15【木】18【日】
14:00 14:00 14:00

明治天皇と日露大戦争



監督：渡辺邦男
出演：嵐寛寿郎 藤田進

明治37年、極東に進出するロシアの脅威にさらされた日本は、和平交渉を持ちかけたがロシアの不誠実な態度に開戦やむなしの声を高まっていた。それでも明治天皇は民の苦勞を思いなかなか決断しない。新東宝オールスターキャストの一大企画で、天皇を実名で登場させたこともセンセーションだった。迫力ある日本海海戦など見所満載の作品で、この年最高のヒット作となった。

1957年/35ミリ/カラー/113分/新東宝

9【金】10【土】
16:30 14:00

次郎物語



監督：清水宏
出演：竜崎一郎 木暮実千代

旧家に生まれた次郎は体が弱いため、別の大邸に預けられて成長する。7年が過ぎ美家に戻った次郎だが、厳しい家庭になかなか馴染めない。次郎の成長が美しい田園風景と共に描かれる。下村湖人の名作文学の映画化で、原作の第一部だけを扱っている。清水監督らしい叙情的な作品。

1955年/ビデオ/モノクロ/102分/新東宝

4【日】14【水】
11:00 14:00

しいのみ学園



監督：清水宏
出演：宇野重吉 香川京子

大学教授である山本は二人の子供がいたが、二人とも小児マヒだった。学校に行くのもいやがる子供のため、山本は全財産をなげうって障害児のための「しいのみ学園」を設立する。現在も福岡にある「しいのみ学園」設立を描いたベストセラー小説の映画化作品。明るく、のびのびとした子供達の姿が感動的。

1955年/16ミリ/モノクロ/100分/新東宝

5【月祝】25【日】
14:00 11:00

ノンちゃん雲に乗る



監督：倉田文人
出演：原節子 鰐淵晴子

お父さんに東京に連れて行ってもらえなかった小学2年生のノンちゃん。木の枝が池に落ちてしまふ。枝が付くとノンちゃん雲の上におり、そこで不思議な老人に出会う。天才ヴァイオリニストと呼ばれた鰐淵晴子の初主演映画で、本作により一躍大人気となる。子供の世界が優しく描かれたファンタジー。

1955年/16ミリ/モノクロ/84分/新東宝

3【土祝】17【土】24【土】
16:30 14:00 17:00

黄線地帯



監督：石井輝男
出演：天知茂 三原葉子

殺し屋の衆木は依頼されて、悪人を暗殺する。ところが衆木が殺した男は税関の所長であり、衆木はギャンブルの利益のために利用されたのだ。それを知った衆木は復讐を期して神戸に身を隠す。天知茂が二ヒルな殺し屋を演じており、テンポの良いクールな演出が目玉。

1960年/35ミリ/カラー/79分/新東宝

15【木】17【土】
19:00 11:00

女体渦巻島



監督：石井輝男
出演：吉田輝雄 三原葉子

対馬の港町にあるキャバレー「怒濤」は香港の麻薬団と、日本のヤクザの取引の場所であり、売春組織でもあった。キャバレーを仕切るのは百合という女。そこへ百合のかつての恋人で拳銃の名人である大神がやってくる。日活の無国籍アクション映画を思わせる作品。

1960年/16ミリ/カラー/76分/新東宝

17【土】22【木】
17:00 19:00

地獄



監督：中川信夫
出演：天知茂 沼田曜一

大学生清水は、教授の娘幸子と婚約していたが、不気味な友人田村に悩まされていた。ある日清水は酔っ払いを車でひき殺してしまふ。自首しようとする清水だが、再び事故を起こし今度は助手席に乗っていた幸子は後半の地獄を再現したシーンにある。血の池地獄や針の山など、日本の特異効果映像の歴史を語る上では欠かせない作品。

1960年/35ミリ/カラー/100分/新東宝

23【金】31【土】
19:00 17:00

東海道四谷怪談



監督：中川信夫
出演：天知茂 若杉嘉津子

浪人・伊右衛門は名家の娘・お梅の窮地を救ったことで土官の道が開ける。しかしお梅と結婚するためには妻のお岩がじやまになり、お岩を殺害する。鶴屋南北の有名な傑作「東海道四谷怪談」の映画化作品。監督は怪談映画の巨匠といわれた中川信夫。華やかな恐怖映画ではなく、様式美に満ちた演出は、今でも忘れがたい印象を残す。西本正の撮影も美しい。

1959年/35ミリ/カラー/77分/新東宝

新東宝の時代

特別企画

会期／5月1日(木)～31日(土) ※休館日・休映日を除く
観覧料／600円(大人) 500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方、および福岡市在住の65才以上の方は300円(手帳の提示が必要です)。

※「わの会」会員は300円(会員証の提示が必要です)。

主催／福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 国際放映株式会社



監督：田中絹代
出演：森雅之 久我美子

5【月祝】16:30 24【土】11:00 28【水】14:00

恋文

戦争から帰ってきた礼吉だが、心の拠り所としていた恋人の道子が別の男性と結婚して以来、生気のない人生を送っていた。礼吉は弟洋のアパートに同居しながら、戦友の紹介でアメリカ人への恋文の代筆をする。そこへ道子が代筆を頼みにくる。道子に純粹な愛情を抱いてい

1953年／16ミリ／モノクロ／98分／新東宝

1【木】19:00 6【火祝】16:30

生きている画像



監督：千葉泰樹
出演：大河内傳次郎 藤田進

洋画の大家、孤人は酒を愛し、奇人といわれながら一人暮らしを続けていた。彼の多くの門下生の中には、彼のか認められず絵画コンクールで落選を繰り返す田西才能力がありながら目立たない生活の南原などがいた。実在の画家・牧野虎雄をモデルにしており、彼の作品が映画の中で数多く登場する。たちの共演が素晴らしい。

1948年／16ミリ／モノクロ／99分／新東宝

4【日】14:00 23【金】14:00 31【土】11:00

銀座化粧



監督：成瀬巳喜男
出演：田中絹代 香川京子

雪子は戦前から銀座で女給として暮らしてきており、焼けた新富町界隈で昔の愛人の子供としていた。昔の仲間で金持ちの旦那を持つていた静江、若い女給の京子など、当時の銀座の風俗や人間関係が成瀬監督らしい細やかさで描かれる。助監督に石井輝男がついていることにも注目。

1951年／16ミリ／モノクロ／87分／新東宝

9【金】19:00 10【土】11:00

恋人



監督：市川崑
出演：池部良 久慈あさみ

京子は結婚式を明日に控えて、独身最後の日を自由に遊びたいと、幼なじみの誠一を連れ出して銀座に向かう。ダンスホールで踊るうち、二人は今まで気が付かなかった結婚前の女性の揺れ動く微妙な心理を、市川崑和田夏十の名コンビが脚本化した作品。

1951年／ビデオ／モノクロ／70分／新東宝

1【木】16:30 5【月祝】11:00 29【木】14:00

忘れられた子等



監督：稲垣浩
出演：堀雄二 笠智衆

精神薄弱の子供ばかりを集めた特殊学級の担任教師に任命された谷山は、最初はまったくやる気がなかった。しかし木登り名人や歌がうまい子、絵が上手な子など、子供達の個性を知ることで、熱心に面倒を見るようになる。子供達が素晴らしい感動作である。

1949年／16ミリ／モノクロ／86分／稲垣プロ＝新東宝

10【土】17:00 11【日】11:00

銀座カンカン娘



監督：島耕二
出演：高峰秀子 笠置シズ子

引退した落語家・新笑の家には芸術家の卵であるお春とお秋が居候していた。お金がない二人は、ある日アルバイトで知り合った音楽家と銀座で一緒に歌を歌ってお金を稼ぐことにする。主題歌の銀座カンカン娘が大ヒットしたことで有名。新笑役で登場する古今亭志ん生の落語も圧巻である。

1949年／ビデオ／モノクロ／69分／新東宝

2【金】19:00 18【日】11:00 24【土】14:00

叛乱



監督：佐分利信 阿部豊
出演：細川俊夫 鶴田浩二

二・二六事件に至るまでの陸軍内部の抗争の過程を描いた、立野信之の直木賞受賞作「叛乱」を映画化した作品。二・二六事件は様々な形で映画化されているが、本作はその中でもトップクラスの評価がされている。監督は俳優としても有名な佐分利信で、そのドキュメンタリータッチの緊迫した演出は、彼の監督としての確かな資質を表している。

1954年／16ミリ／モノクロ／115分／新東宝

2【金】14:00 16【金】19:00 25【日】14:00

大阪の宿



監督：五所平之助
出演：佐野周二 乙羽信子

保険会社に勤める三田は、大阪支社に左遷されてしまう。三田は旅館の「酔月荘」に泊まり会社に通う。乙羽信子が演じる芸者をはじめ、酔月荘で働く女達などの人間模様、大阪の庶民の暮らしなどが、きめ細やかな演出で描かれる傑作。「煙突の見える場所」と並ぶ五所監督の代表作である。

1954年／16ミリ／モノクロ／122分／新東宝

1【木】14:00 21【水】14:00 31【土】14:00

煙突の見える場所



監督：五所平之助
出演：上原謙 田中絹代

実際は4本の煙突が見える場所により2本や3本に見える通称「おぼけ煙突」がある北千住。戦争で行方不明となった夫を持つ弘子は、今では足袋問屋に勤める隆吉と暮らしていた。そんなある日家の前に捨て子が置かれる。赤ん坊に「喜一」愛する人々を描いた人間ドラマの傑作で、五所平之助監督の戦後の代表作。

1953年／16ミリ／モノクロ／108分／スタジオ8プロ

2【金】16:30 6【火祝】11:00 16【金】14:00

戦艦大和



監督：阿部豊
出演：高田稔 藤田進

昭和20年3月、沖縄周辺の米軍をたたくため、戦艦大和に命令が下る。それは護衛の戦艦は無く、燃料も片道分だけという死を覚悟の出撃だった。元大和副長の能村次郎が指導に当たり、大和乗組員たちの人間ドラマに比重が置かれている。戦記ものの先陣を切ったとされる吉田満の原作「戦艦大和」の映画化作品。

1953年／16ミリ／モノクロ／104分／新東宝

5月

09 上映スケジュール

新
東
宝
の
時
代

1 木	14:00 煙突の見える場所	16:30 忘れられた子等	19:00 生きている画像
2 金	14:00 大阪の宿	16:30 戦艦大和	19:00 叛乱
3 土祝	11:00 下郎の首	14:00 王将一代	16:30 黄線地帯
4 日	11:00 しいのみ学園	14:00 銀座化粧	16:30 たそがれ酒場
5 月祝	11:00 忘れられた子等	14:00 ノンちゃん雲に乗る	16:30 恋文
6 火祝	11:00 戦艦大和	14:00 明治天皇と日露大戦争	16:30 生きている画像
7 水		休 館 日	
8 木		休 映 日	
9 金	14:00 女の暦	16:30 次郎物語	19:00 恋人
10 土	11:00 恋人	14:00 次郎物語	17:00 銀座カンカン娘
11 日	11:00 銀座カンカン娘	14:00 女の暦	
12 月		休 館 日	
13 火		休 映 日	
14 水		14:00 しいのみ学園	
15 木		14:00 明治天皇と日露大戦争	19:00 女体渦巻島
16 金		14:00 戦艦大和	19:00 大阪の宿
17 土	11:00 女体渦巻島	14:00 黄線地帯	17:00 地獄
18 日	11:00 叛乱	14:00 明治天皇と日露大戦争	
19 月		休 館 日	
20 火		休 映 日	
21 水	14:00 煙突の見える場所		
22 木	14:00 王将一代	19:00 地獄	
23 金	14:00 銀座化粧	19:00 東海道四谷怪談	
24 土	11:00 恋文	14:00 叛乱	17:00 黄線地帯
25 日	11:00 ノンちゃん雲に乗る	14:00 大阪の宿	
26 月		休 館 日	
27 火		休 映 日	
28 水	14:00 恋文		
29 木	14:00 忘れられた子等	19:00 下郎の首	
30 金	14:00 たそがれ酒場	19:00 王将一代	
31 土	11:00 銀座化粧	14:00 煙突の見える場所	17:00 東海道四谷怪談

新東宝映画史

1946年東宝争議の最中、組合の指導する争議のあり方に疑問を呈する映画人たちが組合を脱退、48年に設立した会社が株式会社新東宝だった。設立に参加した俳優は大河内傳次郎、長谷川一夫、入江たか子、山田五十鈴、藤田進、原節子、高峰秀子などの看板俳優たちだった。当初は東宝が配給する全作品を製作するまでの勢いであったが、東宝経営陣とのトラブルなどで50年に完全に独立し、独自の配給網を持つにいたる。

以後文芸作品の良作や低予算の娯楽作などを作るが、採算のとれない作品が多かった。55年大蔵貢が社長に迎えられワンマン的な経営を行う。そして「明治天皇と日露大戦争」といった大ヒット作を生み出す。また他社との競争に打ち勝つためいわゆる「エログロ路線」を生み出したが、設立当初の監督や俳優に次々と去られ、60年に大蔵貢は辞任し、新東宝は61年に解散する。

新東宝は14年の活動期間の中で500本以上の作品を製作した。溝口健二監督の「西鶴一代女」などの傑作から、戦争大作、大衆娯楽作品まで多彩な作品を短い期間に生み出した会社だった。その作品の変遷はあたかも日本映画の歴史の縮図を見るようである。



アジアフォーカス映画講座

アジアに触れ、親しみ、学ぶアジアフォーカス映画講座。7月までの各月1回開催。アジア映画を題材として、様々な切り口で講座を開催。

第三回 5月13日(火) 18:30~20:00
「戦争と女優」

～李香蘭、カルメン・ミランダ、ジョセフィン・ベイカー～

講師：梁木靖弘(アジアフォーカス・福岡国際映画祭ディレクター)

会場：アクロス福岡2階 文化交流ラウンジ・セミナー室

定員：50名(先着)

料金：無料(要申し込み)

申し込み方法：はがき、FAX、またはメールで「映画講座5月13日申し込み」と明記し、住所、氏名、年齢を記載の上、下記へ申し込んで下さい。申し込み期間は4月15日～5月2日。

申し込み・問い合わせ先：

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1

市民局文化部 アジアフォーカス映画講座宛

TEL: 092-733-5170 FAX: 092-733-5595

Eメール: info@focus-on-asia.com

主催：アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会、福岡市協力：福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会

◆◆◆第98回 福岡日伊協会映画鑑賞会◆◆◆

『豚小屋』(1969年制作)

原案・監督・脚本：ピエル・パオロ・パゾリーニ/出演：ピエル・クレマンディ、フランコ・チッティ他

日時：2008年4月22日(火) 19:00～21:00 ※入場無料・先着120名

会場：あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

主催：福岡日伊協会 TEL092-476-1111(西日本シティ銀行内)

協力：財団法人福岡文化財団

西部ガスグループが提案する
シニアの邸宅。



アンペレーナ百道

介護付有料老人ホーム(較型特定施設入居者生活介護)予定

モデルルーム公開中

福岡市図書館より海方向へ徒歩約5分。

TNC放送会館内(定休日:毎週水曜)

☎0120-312-814

(社)全国有料老人ホーム協会会員
西部ガスライフサポート(株)



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄

●西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

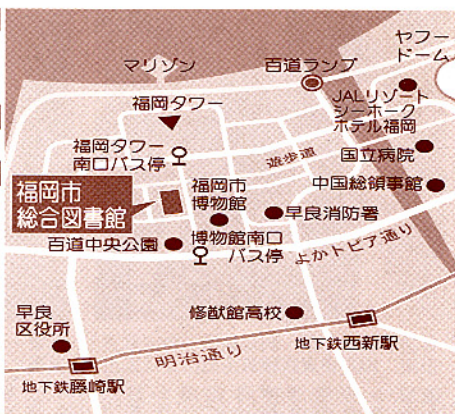
●天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約20分)

●博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約25分)

●福岡タワー南口バス停から徒歩3分

所要時間は交通事情により異なります。

お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表): 092(852)0600

映像資料課: 092(852)0608 Fax: 092(852)0609

福岡市総合図書館「うえぶシネラ」http://www.cinela.com